

I 計画策定の趣旨

1 現計画期間中の取組み経過と現状分析、課題

- (1) **これまでの取過**
 - 山形県病院事業中期経営計画(H27～R3 年度)を策定
 - 資金不足等解消計画(H30 年度)を策定
- (2) **経営の現状**
 - 経常収支は、新型コロナ関連補助金の受入等により、令和2年度に黒字に転じたものの、平成25年度から7期連続の赤字となり、同28年度以降資金不足の状態が継続
 - 収支悪化の主たる要因は、医療提供体制の強化や在院日数の短縮に取り組んできたが、人口減少等により、これに見合う患者数を確保できなかったこと
 - 特に経営悪化が顕著だった河北病院については、病床数や機能の見直しにより、経費削減が図られたものの、医師数の減もあり患者数が大幅に減少

(3) 各病院におけるこれまでの主な取組みと課題

病院名	取組み	課題
中央病院	・初期研修医フルマッチ ・病床数の適正化 ・患者サポートセンター開設	・三次医療機関としての機能充実 ・新入院患者数の確保
新庄病院	・診療体制の充実 ・病床数の適正化 ・新病院の改築整備	・地域診療所との連携強化 ・救急医療機能の強化 ・新病院の改築整備の推進
河北病院	・急患室、緩和ケア病棟、地域包括ケア病棟の整備 ・病床機能の転換、病床数の適正化	・病院事業全体の資金不足の要因となっている経営の改善 ・河北病院経営健全化計画の推進
こころの医療センター	・スタッフ研修の計画的実施 ・高度専門精神医療の提供 ・精神科の専攻医確保	・慢性期入院患者などの地域移行の推進 ・人材の確保と育成

2 県立病院を巡る経営環境

- (1) **人口動向と医療需要**
 - 今後、県内総人口の減少の加速及び少子化の更なる進展
 - 65歳以上年齢区分を中心に受療率(全国)は全体的に低下傾向
- (2) **山形県地域医療構想(病床機能の分化・連携)**
 - 急性期病床が過剰で、回復期が不足の状況
 - 疾患別データや人口動態などから、各医療機関がどのような役割を担うか自主的な選択が必要
- (3) **県立病院が担う医療機能**
 - ア 中央病院**
 - 三次医療機関として全県の高度急性期・総合周産期医療等を担う。
 - イ 新庄病院**
 - 最上二次保健医療圏唯一の基幹病院及び分娩取扱施設として、救急医療、がん医療、周産期医療等の幅広い分野の医療を提供する。
 - ウ 河北病院**
 - 救急医療、急性期医療、地域包括ケア、緩和ケアなど多様な医療機能を有する特徴を活かし、地域のHub機能を有する地域密着型病院として総合的な医療を提供する。
 - エ こころの医療センター**
 - 精神科救急病棟(スーパー救急病棟)等の政策的精神科医療を推進し、県全域の精神科医療の基幹病院としての役割を担う。

3 計画策定の基本的な考え方

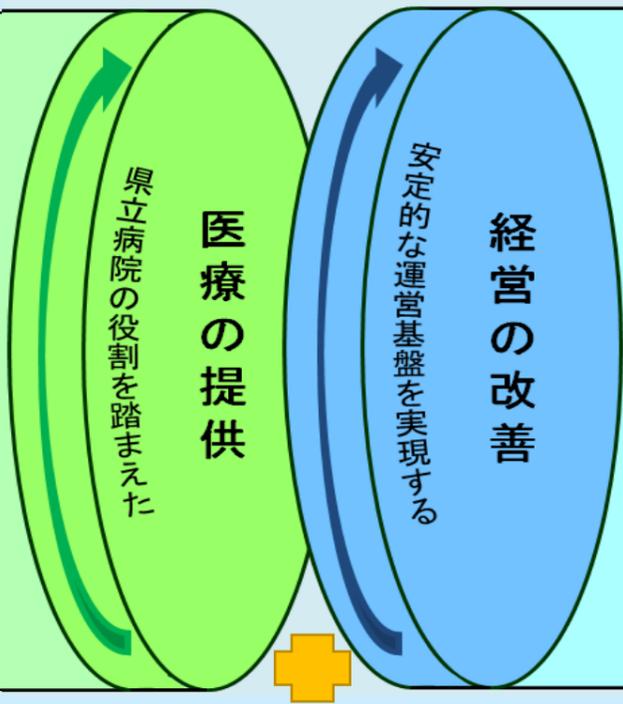
- (1) **計画策定の目的**
 - 今後とも、地域で必要とされる医療を提供していくため、経営改善を着実に進める。
 - (2) **計画期間**
 - 令和4年度から令和7年度まで(4年間)
-
- (3) **使命(ミッション)**
 - 県民に安心・信頼・高度の医療を提供し、県民医療を守り支える
 - (4) **計画期間終了後の姿(ビジョン)**
 - 運営基盤を強化し、時代が求める医療ニーズに応える
 - (5) **重点課題**
 - 地域医療構想等を見据えた各県立病院の役割・機能の明確化、医師及び医療スタッフの確保・育成等、資金不足等解消計画の達成、河北病院の経営健全化及び近隣病院との連携
 - (6) **計画の進捗管理及び達成状況の点検**
 - 運営方針の作成、BSCによる進捗管理、外部評価委員による評価
 - (7) **地域の医療機関との連携強化及び再編・ネットワーク化**
 - 特に西村山地域医療における県立病院の役割の見直し等を検討
 - (8) **新型コロナウイルス感染症への対応**
 - 新型コロナウイルス感染症の患者に対する適切な医療の提供、県PCR自主検査センターの運営、感染防止対策の徹底等
 - (9) **持続可能な開発目標(SDGs)への貢献**
 - 国際社会の一員として本計画を推進することで、SDGs実現に貢献

II 目標達成の取組み(全体計画)

1 県立病院の役割を踏まえた医療の提供

- (1) **安全、安心、信頼の医療の提供**
 - 医療安全対策の充実、チーム医療の推進、接遇及び患者並びに職員満足度の向上、クリニカルパスの更なる充実、医療メディエーションの推進、高度医療機器等の計画的導入
- (2) **大学・地域の医療機関等との連携の推進**
 - 高度・専門医療に係る大学との各県立病院の連携強化、地域の医療機関・介護・福祉施設等との連携強化【重点】、歯科医師との連携、県立病院間の診療応援体制の拡充
- (3) **医療情報システムの統合化による効率的運用【重点】**
 - 基幹システムの統合化による効率的運用及び業務集約の推進
- (4) **新庄病院の改築整備【重点】(令和5年度秋開院予定)**
 - 新庄病院改築整備の推進、診療科の増設等による医療機能の強化、地域救命救急センターによる救急医療の提供、医療・介護・福祉の総合展開
- (5) **働き方改革への対応【重点】**
 - 時間外勤務の縮減等のワーク・ライフ・バランスの推進、医師と多職種との連携等によるタスク・シフト/シェア、特定行為看護師等の養成、出産・育児の支援
- (6) **県立大学との連携推進**
 - 県立米沢栄養大学との連携の推進、県立保健医療大学との連携の推進
- (7) **デジタル化の推進【重点】**
 - 診療分野でのデジタル化の推進、デジタル技術の活用、環境整備

2 安定的な運営基盤を実現する経営の改善



- (1) **医療を支える人材の確保【重点】**
 - 大学との連携強化による医師の確保、県立病院連携による医師確保対策 など
- (2) **高度・専門医療を担う人材の育成**
 - 研修受講や認定看護師等資格取得などの推進、事務職員の育成及び資質向上【重点】 など
- (3) **安定した収益の確保**
 - 病院の役割に応じた診療機能の明確化及び医療提供体制の見直し【重点】、医療スタッフの体制強化による新たな加算取得の推進、DPC対応の強化、逆紹介・紹介の推進による入院患者の確保【重点】、救急における増患対策【重点】、手術件数の増に伴う収入の確保【重点】 など
- (4) **医療費用の効率化**
 - 医薬品・診療材料の調達・管理・使用の一層の効率化【重点】、医療機器の調達における競争性の確保と保守料の低減、施設設備の計画的な維持管理、組織体制及び業務委託の見直し【重点】、共同購入(電気)の推進 など
- (5) **個人医業未収金対策の強化**
 - 退院時請求の実施率向上の取組みの強化 など
- (6) **事務部門の強化**
 - プロパー職員の採用推進、資質向上策の実施
- (7) **目標とする経営指標**
 - 右表のとおり

経常収支比率	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
全体	100.7%	100.9%	100.3%	104.5%
中央病院	102.7%	102.5%	105.2%	106.3%
新庄病院	101.4%	98.5%	92.9%	104.1%
河北病院	97.1%	99.7%	97.8%	96.8%
こころの医療センター	101.7%	104.6%	100.2%	108.2%

1 県民に対する適切な医療等の提供

新型コロナ感染症患者への適切な医療の提供、PCR自主検査センターの円滑な運営

2 感染防止対策の徹底

標準予防策並びに飛沫感染及び接触感染の防止の徹底等による感染防止対策 など

3 新型コロナウイルス感染症への対応

3 医療機器及び医療資材の確保並びに必要なとされる医療スタッフの育成及び確保

医療機器の調達及び確保、医療資材の県立病院間での融通、医療スタッフの確保及び育成

4 関係機関との連携

県内医療機関、市町村、医師会等との連携によるワクチン接種の対応等